



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

話を聞いていただけなのに身ふるりしたり、自分の手を見たりして、自分をもよく分からない感情をいだいていた。

記あくの中から探してもどんな気持ちだったか思い出せない。

ただ目の前には、スクリーンと原爆先生として「義三とその部下たちが

ふくみ雲を見ている姿」や「知中の被爆者の顔」そして手には

いようななにが感じられるものが付いているような気がした時と

あった。特に元宇川の死体を運ぶ所はなにがどいとした

ものを背負っている子気分になったし、横に走るのたまたま黒い

人のようなものか想像できた。でもどなたか言葉を聞いても

熱さや痛みなどは分からなかった。どうしても太陽よりも熱いなと

考えられなかった。ただ熱さを感じないゆらゆらのようなそんな

物になり、時の止まった原爆地をただぼんやりと見て

るような、本当によく分からない感情をいだいていた。

たまたまゲームや映画を見ているみたい、分かるように

まったく分からない。もしかしたら安心している自分もある。

そして「別の人」と思った。戦争は上の人のけんかたとして

聞いたことがある。それがともなふ人たと思った。

なぜそんな一にぼりの人のためだけに大勢の人が死ぬのか

どうして上から見ているのか、分からなかった。同じ人なのに。

なぜ上と下があるのか、でもそれをかきかきしてしまえば、私かほかにいかなるきもない

たにも分からないから何と言えなく、今はまだ「原爆先生の」にしてあげたい

<http://hiroshima9.com> post@hiroshima9.com



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

5時間目は、池田義三さんについておしえてもらいました。
 飛行機の飛んでいる音や、衝撃波、被爆者の様子、を、くわしく、わ
 かりやすいように教えてもらいました。また、熱い大きい丸いものが、
 どのくらいの高さにあるのか、どのくらい熱いのかも、具体的に
 に、ほかの物と比べていたのが分かりやすかったです。私は、太陽が
 世の中で一番熱いと思っていたので、太陽の温度よりも1000度と上まわ
 ることが衝撃でした。また、きのこ雲の出来方と、どうして真空に
 なったかを、テキストを用いてすごく詳しくおしえました。

リトルボーイのことも何かが、何それかを教えてもらい、実際にあ
 りた、誤解が、なんで誤解されたかをもすごくお
 かり、ラジオソングがパラシュートで落ちてきたが、さだとわかり
 ました。私は、去年の夏、広島島の原爆ドームに行く予定でしたが、
 コロナウイルスにより行けなくなりました。でも原爆先生の話を
 聞いたとき、とても行きたくなりました。原爆ドームで生きてきた
 かたらないことも知りましたが、今私にできることは、実際に
 原爆が落とされた場所に行く、当時の事を少しでもおし
 かりように知ることだ"と思ったが、さかみ。

また、2回目に原爆が落とされた長崎にも行きたいと思
 いました。今私にできることをさかして生きて行きたいと思つた。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私はこの授業で、原爆の恐ろしさがより分かった。私は今の時代に生きられて本当に良かったと思った。被爆者の姿は想像したただけですごくかわいそうだと思った。だから私も、二度とこのような人類の渦ちが起らないように、少しでも原爆の恐ろしさを伝えていきたいと思った。被爆していないのに、原爆の音を聞いただけで怖くて泣きそうになった。今まで戦争に頑張って耐えたのに、たった一つの爆弾でたくさんの人々が死んでしまうのはおかしいと思う。また、原爆は7000℃で太陽以上に熱い爆弾が自分に近づいてきたら、と想像するだけでとても胸が痛む。なぜそんなことが起きてしまったのだろうか、と疑問しか浮かばない。本当に75年前、そんなことが日本であったのかと疑ってしまう。

らい悲しい。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

自分は原爆先生の話しを聞いて
やっぱり原爆は怖いな、と思いました。自分は
広島にいたので原爆のことを学習していて
実際に原爆ドームを見てその当時の人たちは
どんなに痛かったのかな、どんなに苦しかったのかと
思いました。池田さんの日記を聞いて
これは痛いや苦しいのレベルじゃないと、これは
原爆一つで平和を地獄に変えるほど
の絶望になったんだと思いました。

小学校で教えてもらってないところも原爆
先生に教えてもらって分かったところもあり、
候補になった春市、原爆投下の条件、
投下目標などが分かりました。長山奇でも
このようなことがあったのはひどいと思いました。
原爆のことを聞いていつこのようなことが
おきるかもしれないということを心に刻もうと
思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅうこう

表

原爆を受けた人のその時の助けを求めるほどの苦しさやつらさ、必死さが原爆の規模の説明をしてもらったときにとってもおぞましくゾッとした。

原爆は放射線や熱線を直接あびるだけで、
たくさん人の口が「一瞬のうちに炭になってしまったり

焼けて皮膚がただれている人がいたことを知り、
私だったらその現状から目をそむけてしまうと思った。

でも、必死に助けようとしてその人の手を握り、皮膚が
とれ、肉が見えてしまっている人にも、自分を奮い立た
せて何人もの人を安全な場所に送ってあげたり、

どれだけひどい死臭がしても最後までていねいに
葬ってあげた兵の人たちほ本当につらかったと思うが
最後までやりきっていたことがすごいと思った。

今回の特別授業を受けて、このようなことは日本でも、
世界のどこでももう起きてほしくないと心から思った。

たった一発、されどこの一発で傷ついた人は原爆を受けた
人だけではないと思う。だからもうこんなことは二度と
起こらないことを心から願う。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

べろべろのこゝでがんばって救助を待つ人。

骨しか残らなかつた人。何も残らなかつた人。

その事を教えてくれた原爆先生。

ありがとうございました。とれほど原爆が
危ないか、体感し。昔の人はこれを必死にたえ

生き抜いてしょうかおせくなりになられたら。

同情な言葉は使えませんが今はこのお気持ち

以上に幸を祈っております。

父は「きねむき」と言いましたよね。

その言葉はこの原爆を身を持って体験し

目で見た本当の出来事を矢のついでに

分かる。たから言える。言えた言葉なしの者。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

原爆は最初原爆、こやばいよねとか思っていたけれど、改めて原爆の恐ろしさを知れた。最初にはぎやかだった町が、原爆によってまんながれきの山になってしまうなんて思いもしなかった。今、東京に原爆が落ちたらと思うと、まよひしかなかった。改めて戦争や争い事をしなさい、今の日本に生まれ良かったと思ってる。原爆は地面に落として、爆発させると思っていたけれど、空中で爆発させてまんなになるんで、思いもしなかった。原爆の熱線の話を決めたとき、太陽より熱い物なんて地球に存在しないとひままで思っていたけれど、爆発した場所が1000000℃、太陽の表面が6000℃、こんな暑さと熱さは想像ができなるわけがない、被爆者の気持ちや体を考えてみると、これまたまよひがたまらなかった。原爆はもう存在してほくない。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは、原爆先生の特別授業を受講して、今までよりも知れたと思う。義三さんが体験したきょうふは、全て他人へきこは言えないが、義三さんが見た今とはちがう世界を、今までよりも義三さんが見た物にちががらけたと思うが、また何か資料を体験が目で見ただけ青景感覚に差があると思う。

なんとにも、義三さんが運がよくてぼくたちの授業があると思うと義三さんには感謝しかないです。

特に心に残ったのは、「ソルトボーン」がどれくらい力の破壊力が一瞬にして人をかけや炭のかたまりにしてしまったことです。太陽より熱い（物体）が600m上にある真上にあててはげはないと思つと身ぶるいします。

こういふ時間（授業）をすごせられたことです。



原爆先生^{じゅこう}の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私はこの特別授業を受けて改めて戦争のおそろしさを理解しました。「原子爆弾」という言葉は何度か耳にしたことはあるものの、あまりよく知らなかつたのでこの授業で原子爆弾とはどうゆうものなのかを先生がくわしく教えてくださり、とても深く知ることが出来ました。先生が最初の方に話してくださいました「7000℃の少年」というタイトルの主人公「義三」の本当にあつたお話を聞いたとき、私はその過こくな9日間におどろきました。原子爆弾でこんなに多くの方が苦しい目にあうのかと私がこの義三だつたらこの9日間とてもたえることはできないと思ひました。私が先生のお話を聞いて一番心に残つたのは、放射線のことです。放射線をあびた家が何軒もあり、家に帰れない人がいたり、その放射線をあびた人は放射症というものにかかり、今も苦しむ人がいると聞き、心がとても苦しくなりました。この広島で起きたおそろしい出来事をもう二度とくり返さないよう、次の世代に

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> post@hiroshima9.com

私たちが伝えていこうと思ひました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生のお話からは色々なことを知りました。今までには、広島や長崎に原爆が落とされたと知っていても、「へえ〜そんなんだ」ぐらいにしか受け止めていませんでした。でも、あのお話で、原爆がどのようなもので、どれだけの恐ろしいものかを実感しました。原爆の中心部は10万度で、外側でも7000℃あり太陽よりも熱いなんて、こんなものが落とされたと思うともものすごく怖くなりました。その他にも、爆心地からそこそこ離れていた義三たちが何十mも飛ばされるような衝撃波や原爆症とよばれる病気の原因となる放射線など鳥肌が立つような恐ろしい整能だなと思いました。話の中で、義三たちが被爆者を助けようとしたけれど、原爆の影郷で皮膚が取れてしまうと聞いた時には、驚きをかかせませんでした。広島市人口35万人いるなか、被爆者数24万人、死者数14万人という数字は恐怖以外の何でもありませんでした。最後の手紙を言売むところでは少し泣きそうになりました。戦争では軍人だけではなく、一般人にも被害が及んでしまうことが分かりました。本当に戦争は恐ろしいものだと思いました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆のことは知っていたけれど、原爆先生のお話を聞いて、「知る」よりももっと深く感じられました。原爆がほんちに恐ろしいものなのか、原爆でどれだけ命が亡くなったか、そのことを少しでも知り、伝えていき、もうこんなことは二度と起らないよう、起さないようとしたいという気持ちも強くなりました。話も聞いてもその場のふんいきが感じられて、自分達もその場にいるような感じがしました。人間らしい姿になって尚、生きたいという気持ちが強く体に伝わってきました。「生きたい」という人、それを助けてほしいという人もいて、私は話を聞いただけで、それを体験をしてみたいので、「悲しいなあ」、「かわいそう」と「怖い」、「同情さえもできないわ」と、この元へ伝えて、自分の心の奥で常に忘れることはできないと思いました。すくなくともしあわせなけれど、私は話を聞いて、本当に悲しく、恐怖も感じられ、その場には居たいとは思わずに、どこかへ逃げたいと思ってしまうところを、伝えてほしい。私はその場には居たいし、体験してみたいと分かります。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

12 / 16

5時間目と6時間目の終わりに話してもらった池田義三さんの話で、原爆の被害についての様々なことについて知りました。ほとんど全ての内容が心に残っています。特に心に残ったのは、荒安川に埋めつくされる死体を運ぶ作業の話から御幸橋手前で男の子に呼び止められ力加がをした女性を助ける話までです。死体を運ぶときは死体の顔が自分の顔のとなりにあった話を聞き、とても怖くなりました。また、若い女性を助ける話で、包帯のまかれた傷口がごんごん音でうじ虫がたたくかいたというのを聞き、怖い音が受ける悪いと思っていました。6時間目の前半は原爆について知りました。千ベツト機長の母親の名前が「飛行機の名前「コラゲイ」であることを知り、原爆を落とされた機長の気持ちがいかに分り、戦争が終わった後、狂ったのがなんと理解できました。また、京都を原爆投下都市から外した理由を聞き、当時の陸軍の人は、頭脳でもアメリカの人には負けていたなと感じました。そして、「リトルボーイ」の大きさを知り、全然小さいんじゃないじゃん！と思いました。原爆の中心地



原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生のお話はとても分かりやすく、その時の状況が良く分かった。お話を聞いていくうちに原爆の恐ろしさを実感し、胸が痛んだ。私も一度広島に行き、原爆ドームや資料館で原爆のことを学んだが、今になって原爆先生のお話と合わせるとさらにどれほど恐ろしいものだったのかが分かった。そして原爆が落ちる直前の音源(爆撃機)にはとてもおどろいた。また、爆撃機(エノラ・ゲイ)のお話や原爆(リトル・ボーイ)のお話など貴重なお話で戦争はとても怖いものだと思える事ができた。このお話や体験は私達6年生だけでなく下級生にも内容を分かりやすくして伝えていければいいなと思った。そして二度とこのような事が起きないよらに改めて協力したり、どれほど恐ろしいものだったのか知ってもらいたいと思った。今回の原爆先生のお話を胸に私も改めて戦争について考えようと思った。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

僕は最初原爆って耳にしてもそんなものがあったんだな〜としかか思ってなかった。しかしこの授業をうけて原爆とは、ものすごくこわくてもものすごく被爆者が悲しく思ってきた。この義三さんがい体を回収するためにとんどん中心にいくにつれ人のような何かしか見えなくなってきた。という言葉聞いた時ものすごくこわくなってきた。原爆は地面から600mはなれた空ではくはして、その中心のあつさは100万℃。地面は3000℃だったそうです。せけどして死んでいくのがどれだけ苦しいのかが想像できませんでした。衝撃波の速さは毎秒440m音速は340mなので音が聞こえる前にふきはされる。この原爆で5人に2人死んでしまった。この授業をやって知れた原爆のこわさ、おそろしさ、悲しさをまだ知らない人たちに教えてい伝えていけたらいいなと思いました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の話を聞いて心がギューとなりました。私達の^(命)生活では家族と買い物をして、楽しく遊んだり笑ったり...そんな日常がたった1つの原爆によってこぼれると考えるとこわくなります。でも広島の人達はそれを知らないまま命をたたくてしまったのかと思います。衝撃波が先に来る音かなる、知識は想像も出来ません。「忘れてしまった」、正直私はお思っていると思います。でも「忘れてはならない」、「知っていなくてはいいな」という想いがこみ上げてきました。ビデオを見る時から義三氏は「何も知らない」私達に対して原爆のおそろさを伝えてくれる人だと思いました。話したくもな^(か)いかもしれないことを話してくれたことに感謝を言いたいです。附水の桶の中に入った、か蒸されているような話を聞いたとき、まるで家族のように悲しいとこわさ、いかりがまじったような気持ちになりました。頭の中はぐるぐるおぼろげなのに話は頭に入っていく、不思議な感覚を覚えました。17時に近すぎ助けを呼ぶ人たちが、^(命)いざがボロボロになりながら助けをほしいという感情をもたない人はいないと思います。私達兵隊なら目を開きたたたた立ちつくすだけになると思います。原爆のおそろさを知った今は悲しいようなものを知りたい、被爆者さんの気持ちに近づきたいと思いました。今回はありがとうございました。これから永遠は必ず「原爆」を次へと

つづけます。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

12/17

原爆先生が池田真徳さんについて話して、
 色々な難しい(分かりにくい)部分がありました。が、
 特別授業から新しいことを学ぶことができました。
 私は今まで「Enola Gay」というものを聞いた
 ことがなかったです。はじめて聞くとき、人の名前
 だと思いました。(資料を見ると、人がいます)
 だけど、先生の話を聞いたら、Enola Gay
 は人ではなく、爆撃機でした!

エノラゲイはリトルボイをばくはつしました!
 資料131を見ると、原爆ドームの近くにはばくはつ
 しました。先生がリトルボイがパラシュートを使ってない
 理由はパラシュートは風の強さと向きは
 変えることがあり、ターゲットを当てられなくなる
 ことが発生させる可能性があります。だから
 🪂は✕と言われました。

この特別授業からおもしろい、新しいこと
 を学びました。私はエノラゲイについて
 もっと調べたいと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

12/17

よしぞうさんについての話をきいて、まず思ったのが怖い、です。話を聞いただけで怖いのが、実際に体験したらどんなに怖いだろう、と思いました。お話は表現が上手なのか、事実を並べているのかわかりませんが、とても生々しく、思わず想像してしまいました。お話をしている原爆先生は、原爆を受けた、よしぞうさんの息子さんだと思いますが、話している様子から原爆を感じようとする思いが伝わってきました。よしぞうさんは軍の命令を、軍の命令だから、素直に実行します。私は実際に兵隊さんにな、たことがないので、軍の恐ろしさをよく知りません。だからこそ、言えるのかも知りませんが私は軍の命令を絶対に実行しようと思わないと思います。御幸橋で会、た男の子と女性。元軍川で抱いた死体。生と死がこんなに違うということを2つの話から感じました。話をきいていると人間は生きていたいんだな、と強く感、ました。原爆にあ、った人々で生きていた人はどれだけいたのか。生きていても、その後原爆症に悩まされた人はどれだけいたのか。生きていた人が語りついでく、れるから私、たちのように原爆で何かを感じられるんだと思、



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

12/17 (13/16)

義三さんのお話では、今まで原爆は人の命をうばうもの、とは思っていたけど、生き残った人でも生きた心地がしないことが一番心に残った。義三さんのように、兵役で、亡くなった方の処理をするため、火葬けただけの皮ふをかついていた人は、その人は、地獄にいた気分だったんだろうと思う。話を聞いているだけで、怖くて、逃げ出したくなるぐらいなのに、実際に体験している人は、ビビるものにならない辛い気持ちを持っていたと思う。何も罪のない人が原爆によって、亡くなるなんて、そんな利不尽なことはない。そんな人をちゃんととむらう、こともできなかった兵隊の人たちは、辛かったと思う。義三さんたち第二班の人たちは、トラックやドラム缶のおかげで、目かかったのは、(広島)の天気が悪かったら、本当に希せきだと思う。でも、原爆の目標地点にどっさり落ちていたら、亡くならなかった人だっただろうし、逆に、亡くなった人もいた、と思うと、目かかった人にも目からなかった人にもかける言葉が見つからない。ただ、原爆だけでなく、爆弾は、国のためだとしても、使うようなことは絶対にしては、いけないと思った。被害にあつた人の状態を聞いているだけで、背中がゾクゾクして、言っただけだと思っただけ、少し気持ち悪くて、誰だ、そんな姿になりたか、たわけではないし、苦しさを味わいたいわけでもなかったはずなのに、と思うと、怒りがわいてくるような

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> post@hiroshima9.com

気がした。今回の授業では、怖かったり、怒ったり、辛かったり、いろんな気持ちが残ったけど、この先、忘れることのない授業だった。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

原爆先生が書かれた小説は、義三さんの日記をもとに作られたそうですが、原爆先生の読み方にとっても感心しました。原爆が落とされた時の「音」を細かいところまで表現されていてとても感心しました。戦争の中、義三さんはとてもつらかっただろうと思います。ですがそんな苦さを乗り越え人々の力になろうと、努力していたのが伝わります。「助けて、助けて…」と声を出している人もいたようですが、その人からほぐれた魚のおいがしたようです。でもその人の残りの命をむしごにはしたくなかったと思います。だからその人を助けることができた。と私は思います。戦争が起こった時代はこんなにも大勢の命がなくなっていました。そして死ぬまで、とても熱い思いをし、痛い思もたくさんしたと思います。今でも原爆症に限らず、たくさん、苦しい思いをしている方がたくさんいると思います。なのでその事を頭に入れて、生活していきたいです。原爆の事など前まではあまり、知識がなかったですが、原爆先生の授業を受講して色々はたくさん知識を得ることができました。今日は原爆の事について教えてくださりありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

原爆のおそろしさがあつたため分かった。
 陸軍の人の話では、人のほたがやきつけていたり
 全身やけどになってしまつて、その前にして
 歩いていく人がいて、そばを聞いて、おそろしさが
 来た。中心部は7000メートルもあつたものが落ちて
 きて陸軍の人たち、人達は冷たいに反応し
 たりして、おそろしさがあつたし、多分おそろしさが
 おそろしくなつてしまつたので、そう考えると
 さらにおそろしく思う。授業の後半に読んで
 もらった本の内容が先生が話して、くまなく
 話して、おそろしさがあつたので、おそろしさがあつた
 人の被害が、人への被害を考えると、おそろし
 さがあつた。陸軍の人の話も、その人が泣いて
 しまつて、おそろしさがあつた。原爆というものは、おそろし
 しい被害を町の人に加えて、おそろしさがあつた。
 原爆の被害をうけた物も、おそろしさがあつた
 いる場所、全身やけどして手を前にして歩いて
 いく人のおそろしさを、おそろしさがあつたといつて
 いたのを、おそろしさがあつたといつて、おそろしさがあつた



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の授業は色々考えさせてくれる授業でした。あの、手を引、はって荷台にのせようとしたら、ひら、かする、ととれたって言いたしけん間めちやくちがこわかったです。先生のまよ現の仕方は、おとうまくて、その場面が想そうしやすく、当時の戦争がとれたけぎんこくなものかが、分かりました。よしぞうさんの体馬喰たんで、防火用水のおけに飛びこんだ、ていいうのがりちばんこわかったです。体がもえて、熱くて、たまらず水に飛びこんだら、原爆があつすぎで、水がいらしけんていようはつした。原火暴のはかりかがとれたけすさまじいかが分かります。そのあと、よしぞうさんに死体をあふらして運んた、ていいうのは、正直、よしぞうさんメンタルヤバ、て、思いました。ぼくた、たらこわすぎで、気ぜつし、ます。あと、よしぞうさんが、女の人を救助したときのこともです。女性の足にうじ虫、てやばすぎでしよ、^ん、て思いました。ふつううじ虫、て死体におくもんじがないんですかね。女性が助か、て、よかったです。

で、た、より



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆先生の話聞いて、あらためて戦争のおそろしさを知りました。自分は、3年生の夏休み、広島市の平和記念公園、原爆ドーム、平和記念資料館に見に行きました。まるこげ^{じゅこう}になつた弁当や制服、昔日本でこんなことがあつたな、てこわくてしんじられませんでした。それから学校でJアラートの訓練があるたびに昔はこんなのはなかつたんだよなとよりいそうこわくなります。いせん^{いせん}学校に爆弾が落ちてくる夢を見ました。友達や先生、全員が体育館に身をひそめておびえています。夢を見ている間は現実を忘れていたので、自分が体験した気分でおそろしいどころの言葉ではあらわせません。目が覚めたときには泣いていました。でも、実際に夢で起きたこといやそれ以上のきょうふが広島におそろてきたんだと思います。平和記念資料館で見たものがきれいなすぎるというのはもっとざんこくだったと考えると、このことを忘れずに後世に伝えていき、二度と戦争を起こさない世界を自分たちでつくらなければならないと思いました。あつたことはどうにもならない、それをどういかにするかを学ぶ大切な時間でした。本当にありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

池田義三さんを中心とした原爆の特別授業
は、と自分からよく、後世につながないといけないなと思
いました。また、図を使った原爆のおそろい、^原体、義三ロード
マップは家にまた、体で覚えて、自分のじの中で、ひびいた
ものがあると思います。原爆のように言周へ見たの、^原原
爆はその時だけでなく、将来にまた会う事という事が分か
りました。特別授業を受講して義三ロードマップを歩いてみた
いなと思いました。これからの将来は原爆に深く関心を
持ち、日常生活を送りたいと思います。それに、お話を
聞いて、二度とこういうことがないように、日々の争いやけ
んがために、日常生活を送る少しはあきらめて原爆
が投下される可能性は低くなると思います。なので、このお
話聞いて心に核んで、二度とこのようなことがないように
過ごしたら、それが周りの人へ伝わり、日本は平和
になると思います。池田さんがあった死者の生々しいよ分か
らなけれど、なんとか共感できて、このような経験を以
てるのは世界に目を向けた人にして、それをなんとかくめ
たいです。12月6日はありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

自分は今日の原爆先生の授業を受けて一番印象に残っている事は、原爆が落ちてまた後の周りの人の姿が人間ではなく、まるでバケモノのように見えるほどのけがをして、いたという事でした。自分は話を聞いて、想像おただけでもゾッとしました。義三さんと原爆を落とされた日の事を思い出した「けが」してもつらそうだったので、自分の想像よりも人の見た目がひどい事が分かりました。他にも、原爆の温度が爆心地は3000℃もあり、人が一瞬で炭化してしまう事や熱系線、衝撃波、放射線により、広島県産業奨励館という大きな建物としても無残な姿になっていた事や、広島市の人口の約70%が被害を受け、死亡してしまったり、約40%もいた事はとてもおどろきました。原爆先生の授業を受けて、原爆の恐ろしさがさらに分かりました。なので、自分は将来、どの国がどの国にも原爆を落とさせないように生きていこうと思いました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の話を聞いて以前広島にいたときに知らなかったことがいっぱいあった。例えば、飛行機の名前とか広島とか長崎の他に小倉があったことも初めて知りました。そして、話を聞いていると習ったことよりもはるかに原爆のいかがおぼろしかったので、びっくりしました。その場にいた人の話を正確に聞いて良かったですが、この原爆などの核兵器はまた数えきれないほど地球に存在するし、核兵器は今使われてはいないけど、全部うてば地球を減らすことができちゃうと聞いたことがあるので、核兵器はもうろん戦争も無くしていきたいです。このことを知っているのは日本人や特定の人しかないので、世界で一つの被爆した国としてそういうことを無くしたいし、教えたいです。今回は話が聞いて本当！良かったです。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の話を聞く前から広島や長崎に原爆が落とされたことは知っていたが、実際にどんなものだったか、どれくらいすごかったかは知らなかった。でも話を聞いてゾッと3000℃の熱、毎秒440mの衝撃波、生体に残り続ける放射線、そして何より恐ろしかったのが、義三さんの言合にあったはがれ落ちる肉や黄色いおんえき。どれも自分が見たこともない残酷さだった。そして、広島ほどの大都市の40%を死とさせてしまっ破かい力の持った原爆。その被害を絶対に受けたくないし、誰も受けてほしくないと思った。何で、何も悪くない広島の人々がこんなはめになるのか、そう考えると空しかった。その原爆の恐ろしさを後世に伝えることが重要だと思った。被爆者や戦争を経験した人がいなくなっても語りつぐべきだと思った。そしてこのようなことをもう一度犯さぬよう努力しようと思った。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

12/16

自分は原火暴先生の言話を聞いて、とても大に思
た言葉は「戦争はよくない」その言葉でした。やたらやり
返される。アメリカのチベット大佐も日本に妻を
殺されてしまったから日本に原火暴を落した。戦争を
しても何もつまらぬ。その言葉がず。と言話を聞いて
て頭に残っていました。自分達がいる平
和がどれだけ良くて、うれしい事かが分かってきて
自分の好きな言葉「一日一日を大切に生きていく」
がより深ま。た感じがしました。

義三さんがどんなに思っていて死体を回収していた
のか、自分達の生きてた日常と風景が一つの
原爆でこわされてしまった。これは自分が想っている
苦しみやつらさの何億倍か。自分は原火暴先生の特
別授業を受講して平和がどれだけ良くて、うれしい
ものかが分かった気がします。原火暴でなくな。てしま
う人のためにも自分はせめて、ハケる人間になれた
らなと思いました。原火暴先生には文章では表わさ
ないほど命の大切さを教えてもらいました。本に
いかにございませ。この平和がいつまでも続きますように。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

12/16

としても衝けきりでした。原爆は危険なもので、死者をたくさんだしてしまうという事は知識として、知っていました。でも、今日話をきいて、そんな簡単に言い表わせるものではなく、被爆者にしか分からないのだということも知りました。太陽の温度に近い熱風が吹き、人々はとにかく生き延びるためいろいろな方法で身を守ろうとする。それでも逃げきれず最後には苦しみだけを感じながら死んでいってしまう。そんな人々の恐怖・絶望感…。もしも自分の身にも同じようなことが起きたらと考えると、恐怖しか感じませんでした。本当のことを言うと、それと同時に自分の身に起こらなくてよかったという安心感も覚えてしまいました。原爆を落としてほしいと思う人はいません。広島、そして長崎の人々は平和にすごしていたがたけず。それでも、起こってしまったことはもうもとに戻らない。6年生も終わりをむかえそうな今、そんなことは当たり前に分かっています。だから、この原爆のおろかさ、恐ろしさを後世に伝え、二度と起こさないようにしなければなりません。実際に原爆を体験した人々、どんなに少なくなってきました。これから私たちが原爆のことを伝え、決して忘れられることのないようつなげていきたいと思っています。今日はありがとうございました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

12/16

まず7000℃の少年といひ話を聞いて思ふ事を書きます。自分は事前に原爆を実体験した人などの話を聞いたことなどはなく初めて聞いておりました。おぼろげ昭和19年に1篇読んで陸軍に入った義三さんがいいと思います。原子爆弾の広島に投下された「リトルボーイ」が3.2mしかたのみに重さ4tの重さがあったやうな物と思いました。しかもそれが200mの赤い球に代えて7000℃の下太陽が自分の上60mにあるような想像はただけで実感がありました。を考えるとたぶん1人のみの原子爆弾で亡くなるやうな数になります。原爆の衝撃が200mほどと初めて知ることもありとて長い時間長い機会におたと思ひます。この存在時間を短くしていただきありがとうございます。最後おぼろげな動画人義三さんの戦争を生で経験した者のその思いなどが伝わって他の人を助けられなうかおぼろげなことを教わります。このまじに経験者としての原爆の悲愴を後世に伝えるようにしたいです。



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

12/16

実際に、その時代、その場所、その時間に生きていた方が残してくれたものを、私は耳で聞いて、目で見て、一部かもしれないけれど、感じ取りました。目をつむって想像するだけでも、ゾッとするような話が、実際にあったのだということにも、こわさを感じましたが、それよりもこわかったことがあります。それは、今の広島市です。原爆が実際に落とされたときの広島市と、現在の広島市は、まるで違います。原爆ドームなどは、そのままとして残っていますが、その他は、「本当にここが原爆による大きな被害を受けた場所なのだろうか？」とうたが、てしまうほどでした。実際に生きていたというような口調になってしまっていますが、原爆先生の話を聞いて想像した風景なので本当かは分かりません。でも、広島市の原爆資料館に行った際、原爆投下後の復元模型のようなものを見ました。そのとき、義三さんと同じようなことを思いました。「灰色だ。」広島市に行ったときより、もっと原爆について知ることができました。ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

12/16

講義してくださり、ありがとうございます。私は、お話を聞いている時は、恐怖でいっぱいになりました。想像したくないような、悲さんな被害が、できたことをくわしく知れました。肌が、とけて、ズルとむけてしまったり、焼けたところは一面灰色になり、たり、人が水にとびこんでいたりなど、初めて知るこトばかりでした。また、原爆によって、どのように被害が起きたのか、原爆の威力を聞いて、怖すぎて、なぜ、このようなものを作ってしまったのか不思議でした。原爆先生の語り方が、すごく怖くなり、きんぱく感が伝わったりして、さらに、原爆は、怖いものだ"と感じられました。爆心地に近づくにつれて人間が人間のようなというもの"に変わるという話を聞き、人間を、そんなもの"に変えてしまう原爆は想像しても、よく分からなかったです。お話を聞いて、私だったら、池田義三さん"が行った作業は絶対できないと震えたりしました。これからは、原爆、その被害のことを忘れず"にだ"したい"と思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

12 / 16

私は特別授業を受講して、二度同じことをくり返さない、くり返してはいけないと改めて感じました。広島のこと長崎でも起こったと思うと、胸がいっぱいになりました。原爆は太陽よりも熱いという事に驚きました。太陽よりも熱いものが天から落ちてくると考えると、怖くてしかたがなか、た下す。地面の温度も鉄がとけるよりも高い熱をもっていたとは、思ってもいませんでした。原爆によて、今も原爆症とたたかい、苦しんでいる人がいることに、胸がいたみました。広島県産業奨励館は原爆が落とされたなか、たら、原爆ドームなんてならなかつたと思うと、悲しくなりました。原爆の資料館にあった被爆者の方の姿を「きれい」とよれぞうさんがおっしゃったことに、本当はもっと体を痛めて、けん命に生きようと、助けてもらいたいという苦しむ被爆者の方の姿が頭に浮かび、絶対に、二度とこのようなことは起こしてはならないと強く感じました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

12/11

自分は戦争のことは原爆がすごいえいきょうがあつた
たしか思わなかったが、中みを見てみると、いろいろな人
がとて見にくい姿をしていて、皮が剥けていて、死しむと
いうあぶらめたいな物がからたのいろいろな場所
所から出ていることを聞いてお像してみた
らなんとむきむきで、何ともいたいたい姿が分かつた
時から、戦争は人を二人ないたいたい姿にする。原爆のせいであまりの環土荒れきれは
たなりすぎていると思ひ、戦争のおそろしさが
さらに土曾したきがしました。それに、上空600
mからまわりが7000°の太陽を走るような
火の大玉が上空からかってくると思ふと、おそろ
しすぎてそのしんかん手の力がいきにくくなりました。
それに、その戦争を体験して体験したこと
あるよしろうさんが書いた日記の記録を聞
いたらより、よしろうさんが必死で戦争を
生きていたことが伝わってこれから大人に
なっても戦争のおそろしさをぜったいに戦争
はやってはいけなことを忘れないでほしいというこ



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

12/16

原爆のせいであくさんの方がたかくなら
れたと思うと、心が苦しく悲しいきもちになりました。
へいしたちががんばって、やけどした人々を乗せようとした
けれど、ひろがはがれ落ちて人々は、また地面にぶげ
おちる。それを見る兵士たちの目には、なみだがはぼ
れおちる。と説明されたときは、本当になきえうにな
りました。

だから今、自分達は、とてもしあわせなんだ。あ。
一番びっくりしたのは、「リトルボーイ」という原爆
が300mで走ると聞いた時です。実は自分も、回
「リトルボーイは、パラシュートで来て、落とすよ。」と聞いた
事があるんですけど、「リトルボーイ」は、パラシュートで
落とすとは出来ないよ、おっしゃって来てよからたて、
本当に自分が「原爆のことをもっと学べよ」とも
しい時間だったと思います。失礼か、時間でしたけど、
ありがとございました。

もっと原爆について言いたいです。
この授業は、せつたいに忘れません。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

12/16

題名の「7000Cの少年」はB29爆撃機エノラゲイが積んでは原子火暴だんリムボーンのとどたったのではないのでしようか。筋は勉強で原子火暴だんのことば矢のついたけれど、本人にもひどいものとは思っていませんでした。犬走も筆走も物走と犬走とおどろきました。一番心に残ったのは、3000Cで人間の命がほとんど奪われていたことです。自分の将来の夢は首相になることです。なので原子火暴だんで70%の人が被爆し、40%が死んだことを後世に残していきたくてです。おどろいたのは火暴心地150mの地点の地下のミルには助かった人がいるということに驚きました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

12/16

原爆先生が「活か」とても心が悲しい
気分でした。活か「リトルボーイが」本当に
町をはかりしてあげて、本当に「エラ」が
か「こんな事をするのは、日本が」めっちゃ苦し
でると思えます。

先生、君の父さんは、めっちゃ「な」いて
しまったね。死か「復讐」たからでしょうね。

リトルボーイでは英語は little BOYと言味意
です。

アメリカは、せうた「リトルボーイを作らなければよ
かった。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

12/6

原火暴先生の授業をとおしてリトルボーイなどの原火暴がふってきたらどうしようと思いいどのような行動したらいいだろうと不安になりました。そしてただあついじゃなく太陽ぐらいあつく、東京スカイツリーぐらいからふってくるのできてまた冬りだなと思いました。義三さんが民人をトラックに①せてあげようとした時に民人の手がとれてしまった時どれだけいたかたのただろうと罪なき人の命をうばう原火暴はなんてことをするんだ！と思いました。同時になんで軍がそんなてするんだとかなしくなりました。地下の人々にいた人は助かったのは本当にきせきでよかったと思うし、ひびんけいろうが身を守れる場所を知らなければならぬと思いはしたけれどけいろうがない時はどうしようと思いました。原火暴のことをしてたいしよができれば

しれないから
原火暴のことをしれて
よかったです。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

12/16

この度は、「広島原爆」について受講していただき、ありがとうございました。原爆のおそろしさ、こわさにしゃべれなくなるほどでした。

「原爆」、自分は塾で習ったくらいの事だったので、これほどの人を巻きこんだこと。そして巻きこまれた人ではない人。どちらも想像を絶するような苦しみや傷みを考えていると、心が傷みます。「7000℃の少年」という本を読んでいたとき、自分は遺体を背負、たり、運んだりする。これは、苦しくて、悲しくて、それとまじってくる気味悪さが重って不可能だったと思います。軍の命令であったとしても目をそむけなくなるような、逃げたくなってしまうような感情がこみ上げてくるは声です。アメリカにせぬ日本も悪いのですが、

アメリカがたゞえ原爆を打ちこむことはあってはならない、やめてはならないと思いました。しかも関りのない人を巻きこまないでほしいと感じました。私も一度原爆ドームや、原爆忠料館へ一度足を運んで、今までもあたりに目をそむけずしっかりと、真剣に過去にリッて知っていきたくと思います。

このような機会があった自分として、当たり前でないことを心の中に入れ、伝えていきたくと思います。このような悲劇がなくなり心から原爆を討つ。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は表面に記入してください

12/16

お話を聞いて、おどろいたことがろつありました。

まず、原子爆弾が太陽よりも高い温度で約100万
上空でつくれあがっていたということです。熱いどころか熱いと感
じる前に炭化してしまい、黒いおとしが残らないとい
ことがしやうげき的でした。2つ目は、B29爆撃機
エノラ・ゲイが、原爆を落としてからにげるときに空気
中でもしん動を感じとったことです。しかも、音より速い440km
で衝撃波が届いたこともおどろきました。3つ目は、
全身やけどを負った人の皮膚がもろいということです。やけど
をしたことがあり、それだけいも痛かったのに、それ、その人たちは、
全身なので、どれだけ痛いか分かりました。そしてその皮膚に
うれたただけで痛み、引張るとちぎれる。そんなことを想像
すると、とてもおそろしいです。リンビのように「目力けて…」と叫び
かけ腕を前方に垂らしていくのを目力けられないでいる兵隊の
人たちの心音が伝わってきました。
このことで、原爆のおそろしさかすごいと思いま
した。まだの火暴弾を保持している国があんな戦争
はあまりしないで欲しいし、保持国もなくなって
欲しいと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

12/16

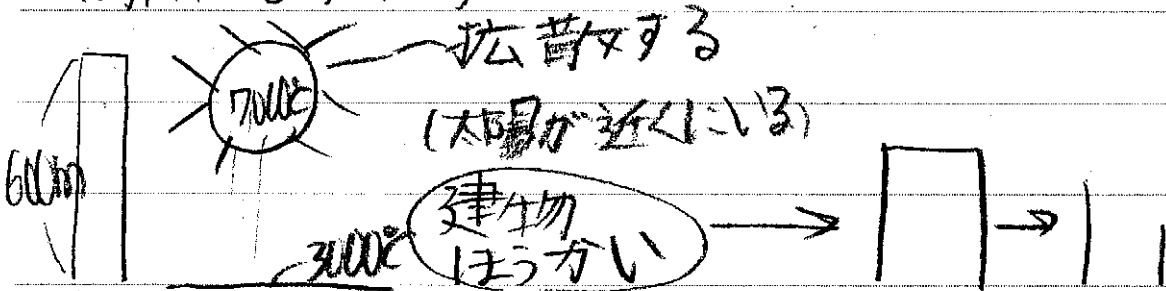
自分は原爆先生の話を聞いて、原爆はとてもしんどく、
世の中には絶対にあてはまらないと思った。

なぜなら、

① 死亡率が高い

(35万人中14万人死ぬさらに24万人もの被害)
を受けている。

② 高温で焼死



③ 上昇気流発生により電まきが走る。

以上のことにより自分はこの危険なもの
だと思った。さらに原爆先生の原爆が落ちる瞬間の音
を聞いた時に、ぞとしました。原爆を受けた人はどいねに決ま
りない思いをしたのかよくわかりません。

自分は、原爆の恐しさを伝える原爆先生はすごいと思
いました。なぜなら原爆を知らない人にその恐しさを伝え、

原爆先生の原爆は世の中にあてはまらないという
思いが伝わってきたからです。特別授業おしくたびりありがとうございました。



原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

12/16

特別授業を受講してまず思ったことは原子爆弾はとてもおそろしくてごんごんたたんだなどという事です。今まで自分は原爆のことで習ってもああ大変だったんだなとしか思っていなく今もまたその影響が残っているということも知らなかつたのですがその想像をはるかにえるほどの大変だといふことがわかりました。ぼくが話を聞いて一番しげきを受けたのが原爆資料館にある被爆者の人形がこれでもこの何に「隠れいすぎ」と義三さんが言ったことでした。このことでは、おれと原爆がとてもとてもおそろしく罪な人を大量に殺したんだなと思いました。そして救助をかけた義三さんのなにもできたりもどかしと元安川で人間の死体をかたずけるときの悲しさがとてもよくわかりました。ぼくはこれから大人になつて社会を支える立場として一度とかな何にも得にならない悲しい原爆を使わせないよな平和でみんなが戦争をしないで暮らすことができる世の中にしたいなと今日の義三さんの話を聞いて思いました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

12/16

特別授業を受けて、とても印象に残っていること、一つ目は原爆で亡ってしまった人、重傷を負ってしまった人の目です。私たちは文しか聞いて、「いけ」と言葉だけでも想像できれまうくらいむごい内容でした。肉から皮がはがれおちるとか、全身がけととか、傷口からウジや虫や油がでてくるとか。聞くだけで鳥肌がたったり、背筋が凍ったと言っている人が、めんから目をそむけている人もいました。でも義三さんは、私たちとはちがって、そこをいたわけですから、鳥肌がたつとかのじげんじやないと思います。きっと私たちが想像できないくらい怖がったと思うし、にげだしたい、つらいと苦しんでいたと思います。とても残さくて、おぞましいなと私は見ていて思いました。二つ目は原爆の熱さです。私は原爆は爆発したらとても熱いというのは知ってはいましたが、「7000℃と太陽より熱く、地面がぐっぐっおいていた。というわかには信じがたい話を聞いてとてもおどろきました。地上だけでも3000℃なのに、頭上から太陽よりも熱いものが降ってくるなんて、とても想像できません。それよりも、その時地上にいた人間がどうなったか。7000℃なんて身近なものじゃないです。し分かりませんでした。でもコンクリのがいたんについた人のかけのようなしみの画像が

うら
↓



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

12/16

私は原爆を少しあまく見ていました。今日の授業で原爆により、たくさんの人の命を失ったことを知りこわいものというのを学びました。義三さんが書いた日記をもとに説明をしてくださり、空襲の音や、被爆者はどういう感じだったかをポーズで教えてくださったのでとても分かりやすかったです。5年生のときに「たずねびと」という物語を読みました。「たずねびと」では広島平和記念資料館を中心とした物語でした。その物語にも、被爆者名簿がでてきたのですが、5年生のときはあまり悲しみがうまれなかったのに、授業を受けた後の自分には悲しみがうまれました。自分はより多くの人に、この原爆の悲しさ、苦しさをみんなにつたえたいと思いました。原爆ドームはこわれているのになぜ文化遺産に登ろくされたのか今の自分にはわかります。これからの未来でできるだけ多くの人にこのわすれたいけない原爆の悲しさを伝えたいです。今日はわかりやすい授業をしてくださりありがとうございました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

12/16

自分が「学んだ」とは、原火暴というのはおそろしい
 いうことです。(理)由は、たくさんありますが、ちつ言います。
 1つ目は、熱さがおかしき言うことです。なぜなら、表面温度
 だけで7000℃あって、太陽よりも表面温度が高いからでは
 それに、熱気象がとてあついからです。
 2つ目は、放射線象です。なぜなら、体に悪い障害をおたえた
 からです。3つ目は、火衝煙が、なぜなら、いろんな物をこき、最
 大風速が秒速440メートルにまでなったからです。
 4つ目は、後遺症です。なぜなら、よしづうにも、ちがらんん
 としても悪い多貴症をおたえ、苦しめたからです。5つ目は、
 熱で体があかくなり、手を前にだし、痛くないよう歩いたりした
 り自かて、且かて、や「痛はよ。痛はよ。なび」と言ひのすとも
 こおかつたからです。それに手の皮も#が来て熱くなり、とても
 こおくて、しかも、原火暴は4毛の重さがあり、時速300kmの
 速さの飛行機から飛ばせ来、少しおつ垂直になり、
 落ちて行くのがこおかつたからです。自分は、もう、2度も原
 火暴が落ちないでほしいと思ひました。なぜなら、言たと
 り、とてもこおく、おそろしい。それに、それで、大勢の人が
 命を落とすからです。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

12/16

僕は、この授業を通して已々め
て思いました。原爆は、こわい。それ
命をたくさんうばうただの悲しい物
だという事。原爆がこわいとい
事は、知っていましたがかつし
は、知らないで今まで生きてい
ました。しかしこの特別授業を
通して、原爆がどのようなこわい
という事は、知りませんでした。
例えば東京スカイツリーと同じ
所に、太陽が近づいてくると
考えると実におそろしいです。
また、原爆のとうが地点から、150
の戸所にいた人が生きていたん
で、本当に奇跡だと思いました。
今回は、このような授業が受
講させてもらい大変光栄な時間
でした。本当にありがとう
ございました。



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

12/16

この前は特別授業をしていただきありがとうございました
いました。少し前に原爆のお話を読んだことがありましたが、
それ以来原爆についてふれていませんでした。ですが、
原爆先生の特別授業を受講して、あらためて原爆は、
本当におそろしいものだと感じました。今まで、あまり
原爆のことについては知らなかったのとて良い
べんきょうになったと思います。迫力をすごく圧とう
されました。私がびっくりしたことは、原爆はパラ
シュートで落とされていないということです。原爆はパ
ラシュートで落とされていると勝手にかんちがいしていた
のとてびっくりしました。あと、1しゅんで人じやな
い形になってしまうということや、手をとると、かわたけ
がむけてしまうということにもびっくりしました。主人
公もきせきにきせきが重なって助かったと思うと考え
深いと思います。この授業で本当にその場に自分がい
たらと思うと考えられないほどこわいことだと思います。
なので、本当に原爆はおそろしいし、二度と同じことにな
ってほしくないと心から思いました。最後に特別
授業をしていただき本当にありがとうございました。